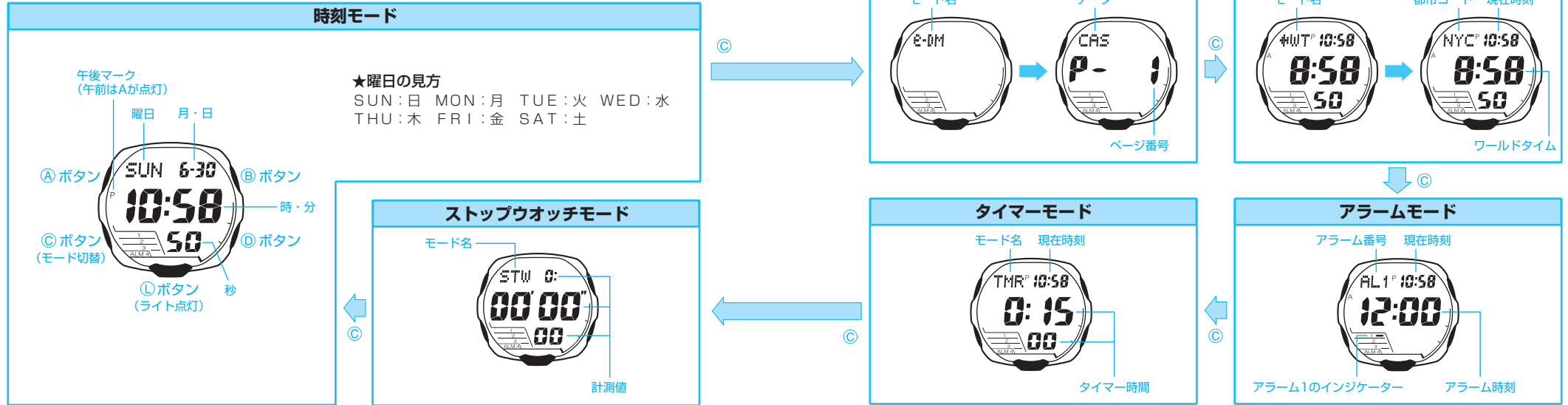


操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
 ※ e - DATA MEMORY モード、アラームモードのまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。



ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる

～手動発光～

どのモードのときでも、

① ボタンを押します



→約1.5秒間文字板が発光します。

※オートライトのON/OFFにかかわらず、① ボタンを押すと発光します。

■ 時計を傾けて発光させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。オートライト機能では、どのモード(修正中も含む)のときでも、時計を傾けるだけで文字板が約1.5秒間発光します。

準備: 時刻モードのとき、① ボタンを約1秒間押し続けて、オートライト ON (EL点灯) にします。

※オートライトONのとき、① ボタンを約1秒間押し続けるとオートライトOFF (EL消灯) に戻ります。

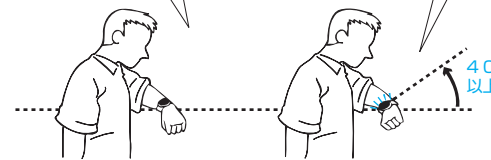
※オートライトのON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。



オートライトONマーク

● 文字板を発光させる

- ① 時計を腕にはめ、水平にします
- ② 水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます



※オートライト機能を使用するときは、時計を「左手首の外側」に置くようにつけてください。

※文字板の左右(3時～9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。

〈EL発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、「AUTO」を点灯させてから約6時間です。それ以降は電池消費防止のため、自動的に「AUTO」が消え、オートライトOFFになります。
 ※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度① ボタンを約1秒間押し続けて「AUTO」を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしても、発光は約1.5秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

e-DATA MEMORYの使い方

e-DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※1件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- 1件あたり63文字のデータを入力した場合、5件まで記憶できます（1件あたり64文字以上のデータは入力できません）。
- 1件あたり7文字のデータを入力した場合、40件まで記憶できます（1件あたり6文字以下のデータでも記憶できる総件数は40件までとなります）。

※e-DATA MEMORYモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※パスワードを登録すると、モードを切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。

*パスワード機能については「■パスワード機能について」参照。

◎ボタンを押して、e-DATA MEMORYモードにします。

データのサーチ

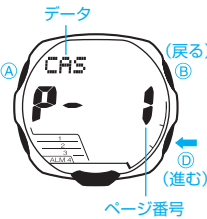
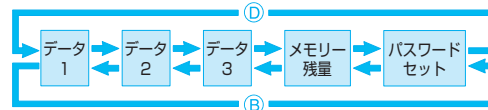
e-DATA MEMORYモードのとき、◎または◎ボタンを押します

⇒◎または◎ボタンを押すごとにページが切り替わります。
※◎・◎ボタンとも、押し続けると早送りします。

※データを4文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に「◀」マークがつきます）。◎ボタンを押すと表示が止まり、もう一度◎ボタンを押すと動きだします。

※データ入力をしたページとメモリー残量、パスワードセットのページを表示します。
なお、データを1件も入力していないときは、メモリー残量「100%」とパスワードセットのページのみ表示します。

例) データを3件入力したとき



データを入力する

(1)メモリー残量のページにする

e-DATA MEMORYモードのとき、◎ボタンと◎ボタンを同時に押します

⇒メモリー残量のページになります（右図）。

※「0%」と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

*「■データの修正/消去」参照。



(2)セット状態にする

◎ボタンを約1秒間押します

⇒データの1桁目が点滅します。



(3)点滅箇所のセット

◎または◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、◎ボタンを押すごとに戻ります。

※◎・◎ボタンとも、押し続けると早送りします。



(4)セット箇所を選ぶ

◎ボタンを押します

⇒押すごとに点滅箇所が右に1つ移動します。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。



(3)~(4)の操作を繰り返して、データを入力します

※入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字 a~z
- 英大文字 A~Z
- 数字 0~9
- 記号 * _ @ ^ ? # ! % . : ; ' , ^ & = + ()

(5)セットを終わる

◎ボタンを押します

⇒「SET」表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けて他のデータを入力したいときは、(1)~(5)の操作を繰り返して行ないます。

※データは入力した順に記憶していきます。

パスワード機能について

パスワード機能とは、4桁の番号を入れないとデータ呼び出せない機能です。

他人に見られたくないデータ保存に便利です。

パスワードの登録

(1)パスワードセットのページにする

e-DATA MEMORYモードのとき、◎または◎ボタンを押します

⇒◎または◎ボタンを押して、パスワードセットのページになります（右図）。



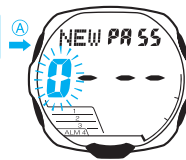
(2)セット状態にする

◎ボタンを約1秒間押します

⇒パスワードの1桁目が点滅します。

※もう一度◎ボタンを押すと、点滅が止まり、登録を途中でやめることができます。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります（この場合、パスワードは登録されません）。



データの修正/消去

(1) ◎または◎ボタンを押して修正/消去したいデータを選びます

(2) ◎ボタンを約1秒間押します

⇒データの1桁目が点滅します。

(3)データを修正/消去する

★データ修正 ⇒ ◎ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、◎または◎ボタンを押して正しい文字（数字）を表示させます。

★データ消去 ⇒ ◎ボタンと◎ボタンを同時に押します。「CLR」表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(4) 修正/消去が終わりまりましたら、◎ボタンを押して点滅を止めます

※データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。

(3)パスワードを入力する

a. 数字を入れる

◎または◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ボタンを押すごとに戻ります。

※◎・◎ボタンとも、押し続けると早送りします。



b. 桁を移動させる

◎ボタンを押します

⇒点滅箇所が右に1つ移動します。

※数字を入力してから桁を移動させてください。



a.~b.の操作を繰り返して、パスワードを入力します

(4) 4桁の番号を入力したら、

◎ ボタンを押します

- ⇒ “SET” 表示後、点滅が止まり、登録完了です。
- ※ 4桁の番号を入力後、◎ ボタンを押さないとパスワードは登録されません。
- ※ パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再び e-DATA MEMORY モードに戻ると、パスワード入力表示となります。



<ご注意>

- パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

● パスワードの入力

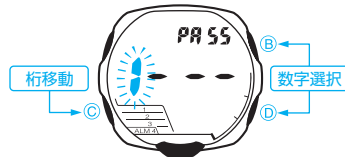
パスワードを登録すると、e-DATA MEMORYモードに切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。



<パスワード入力表示>
※パスワードを登録している場合

(1) パスワード入力表示のとき、

登録時と同様に、「●パスワードの登録」 a.~b.の操作を繰り返して、登録したパスワードを入力します



- ※ 数字を入力してから桁を移動させてください。
- ※ A ボタンを押すと、点滅が止まり、入力を途中でやめることができます。

● パスワードの変更

一度登録したパスワードは、変更することができます。(パスワードを変更しても、データに影響はありません)

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

(1) パスワードセットのページにする

◎ または ◎ ボタンを押します

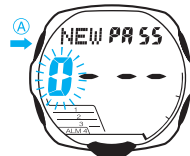
- ⇒ ◎ または ◎ ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。



(2) セット状態にする

A ボタンを約1秒間押しします

- ⇒ パスワードの1桁目が点滅します。
- ※ もう一度 A ボタンを押すと、点滅が止まり、変更を途中でやめることができます。
- ※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。



(3) 新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、「●パスワードの登録」 a.~b.の操作を繰り返して、新しいパスワードを入力します



※ 数字を入力してから桁を移動させてください。

(4) 4桁の番号を入力したら、

◎ ボタンを押します

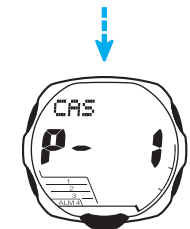
- ⇒ “SET” 表示後、点滅が止まり、変更完了です。



(2) 4桁の番号を入力したら、

◎ ボタンを押します

- ⇒ パスワードが合っているときは、“OK!” 表示後、データを表示します。
- ⇒ パスワードが間違っているときは、“ERR” 表示後、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。



● パスワードの消去 (パスワード機能の解除)

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

(1) パスワードセットのページにする

◎ または ◎ ボタンを押します

- ⇒ ◎ または ◎ ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。



(2) セット状態にする

A ボタンを約1秒間押しします

- ⇒ パスワードの1桁目が点滅します。
- ※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。



(3) パスワードを消去する

◎ ボタンと ◎ ボタンを同時に押しします

- ⇒ “CLR” 表示後、パスワードが消去されます。



ワールドタイムの使い方

世界29タイムゾーン(27都市)の時刻および世界標準時(GMT)の時刻を知ることができる機能です。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。「時刻・カレンダーの合わせ方」参照)

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制表示となります。

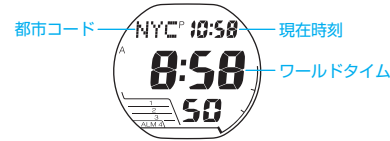
◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、◎ または◎ ボタンを押します

⇒各都市の時刻を表示します。
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

★表示の見方



※都市コードのない地域は時差を表示します。

サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

サマータイムのON/OFF設定

準備: ワールドタイムモードのとき、◎ または◎ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

◎ ボタンを約1秒間押しします



⇒◎ ボタンを約1秒間押しするとサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、「GMT」表示のときはサマータイムの設定はできません。

都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	-11		JED	+3	ジェッダ
HNL	-10	ホノルル	THR	+3.5	テヘラン
ANC	-9	アンカレジ	DXB	+4	ドバイ
LAX	-8	ロサンゼルス	KBL	+4.5	カブール
DEN	-7	デンバー	KHI	+5	カラチ
CHI	-6	シカゴ	DEL	+5.5	デリー
NYC	-5	ニューヨーク	DAC	+6	ダッカ
CCS	-4	カラカス	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	-3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
---	-2		HKG	+8	香港
---	-1		TYO	+9	東京
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	ADL	+9.5	アデレード
LON	+0	ロンドン	SYD	+10	シドニー
PAR	+1	パリ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン
JRS	+2	エルサレム			

※この表は2001年12月現在作成のもので、
※この表の時差はグリニッジ標準時(協定世界時:UTC)を基準としたものです。
※都市コードのない地域「---」では時差を表示します。

アラーム・時報の使い方

◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームの使い方

●アラームについて

本機には、月・日・時・分とメッセージ(最大8文字)をセットできるアラームが5本あります。(通常アラーム4本/スヌーズアラーム1本)

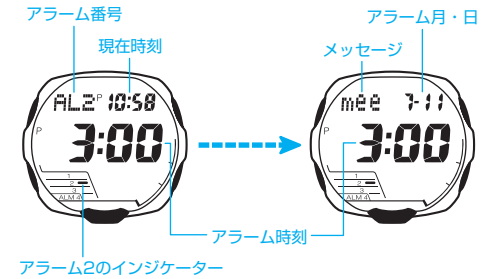
★通常アラーム(AL1~AL4)
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。

★スヌーズアラーム(SNZ)
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

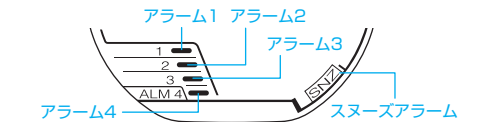
※メッセージを入力したときは、アラーム番号を表示後、メッセージを表示します。

※メッセージを4文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます(メッセージの最後に「」マークがつきます)。

※月・日をセットしたときは、現在時刻を表示後、月・日を表示します。



★アラームインジケータの見方



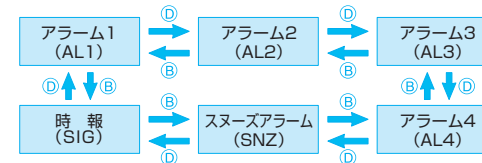
※アラームモードでは、選んでいるアラームのインジケータが点灯します。

●アラーム時刻のセット

(1)アラームを選ぶ

アラームモードのとき、◎ または◎ ボタンを押します

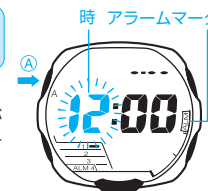
⇒◎ または◎ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。



(2)セット状態にする

◎ ボタンを約1秒間押しします

⇒「時」が点滅します。
※アラームマーク「ALM」が点灯して、自動的にアラームONになります。



(3)セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



(4)点滅箇所のセット

◎ または◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字(文字)が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「月」をセットしないときは「-」を、「日」をセットしないときは「-」を表示させます。



(3)~(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- 毎日鳴らす ⇒ 「時・分」のみセット
- 指定月の毎日鳴らす ⇒ 「月・時・分」のみセット
- 毎月同じ日に鳴らす ⇒ 「日・時・分」のみセット
- 指定月日に鳴らす ⇒ 「月・日・時・分」全てセット

※メッセージは最大8文字まで入力できます。入力できる文字は以下の通りです。

- ・英小文字 a~z
- ・英大文字 A~Z
- ・数字 0~9
- ・記号 * _ - @ ^ / \ ? # ! % . : ; ' , ^ & = + ()

※表示が点滅しているとき、① ボタンと ② ボタンを同時に押し、メッセージが消去され、アラーム時刻が午前 12:00 (「時・分」のみセット) になります。

(5) セットを終わる

① ボタンを押します

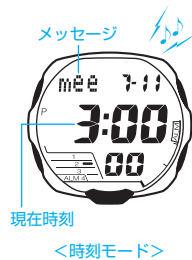
⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

● 設定した時刻になると

設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴ります。

※メッセージを入力したときは、設定した時刻になると、時刻モードで1分間メッセージを表示します(右図)。



● アラームの ON / OFF 設定

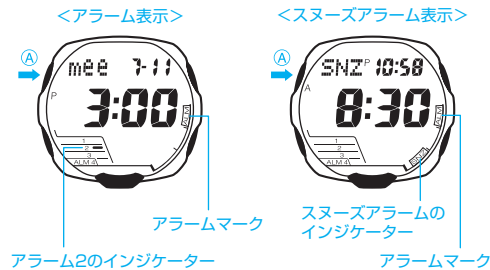
準備: アラームモードのとき、① または ② ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとにアラームの ON / OFF が切り替わります。

※アラームマーク "ALM" が点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。

※アラーム ON に設定すると、該当のアラームインジケータがアラームモード以外のモードでも点灯します。



■ 時報の使い方

● 時報について

毎正時 (00 分) に "ピピッ" と電子音を鳴らすことができます。

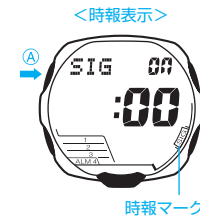
● 時報の ON / OFF 設定

準備: アラームモードのとき、① または ② ボタンを押して、時報表示 (SIG) を選びます。

① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに、ON / OFF が切り替わります。

※時報マークが点灯しているときが ON となり、時報が鳴ります。



● 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します (スヌーズアラーム機能中は "SNZ" が点滅します)。

※「●アラームの ON / OFF 設定」の手順でスヌーズアラームを選び、"ALM" マークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

<ご注意>

● "SNZ" 点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

- ・時刻モード、アラームモード (スヌーズアラーム表示) でセット状態に入る。
- ・ワールドタイムモードでホームタイム都市のサマータイムを ON にした。

●基本時刻セット、スヌーズアラームセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1 回のみ報音を行ないません。

● モニターアラーム

アラームモードのとき、① ボタンを約 2 秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

タイマーの使い方


タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が15分で設定されています。

タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせて好きな方を選ぶことができます。

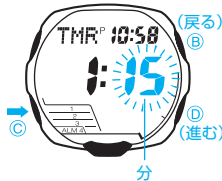
★**リピートタイマー（繰り返し計測）**
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

★**オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）**
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※オートリピートタイマーを選ぶと、「」マークが点灯します。

(3)「分」をセットする

◎ ボタンを押します


⇒「分」が点滅します。「時」も「時」と同様に◎ またはⓐ ボタンでセットします。



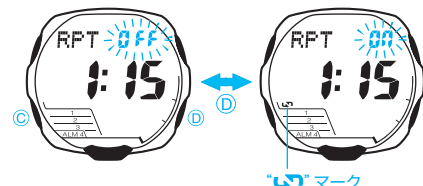
(4)タイマー方法を選ぶ

◎ ボタンを押してから、ⓐ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとにオートリピートタイマーのON/OFFが切り替わります。

※オートリピートタイマーを選ぶと、「」マークが点灯します。

<リピートタイマー> <オートリピートタイマー>



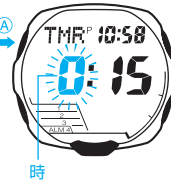
◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマー時間のセット

(1)セット状態にする

タイマーモードのとき、
ⓐ ボタンを約1秒間押します

⇒「時」が点滅します。



(2)「時」をセットする

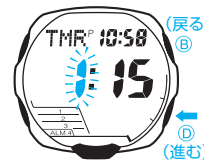
ⓐ または ⓑ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、ⓑ ボタンを押すことに戻ります。

※◎・ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※1分単位で24時間までセットできます。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を「0:00」にします。



(5)セットを終わる

ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

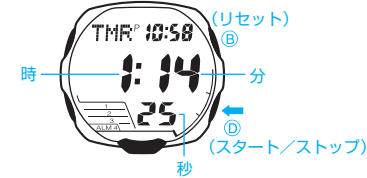
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



★計測ストップ後、ⓑ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、◎ ボタンでストップ後、もう一度◎ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

ストップウォッチの使い方

◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

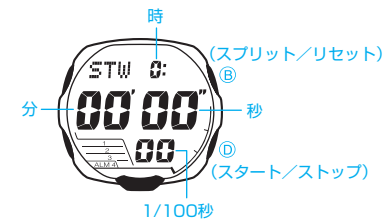
ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※計測ストップ、スプリット計測時はボタンを押したタイミングよりもやや遅れて表示されることがありますが、計測は正しく行なわれています。



●通常計測



積算計測…ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



●1・2着同時計測



★計測中にⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後◎ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ...30秒以内の遅れ/進みの修正

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**A** ボタンを約1秒間押します

⇒「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて **D** ボタンを押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



(3) セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(3) ホームタイム都市を選ぶ

C ボタンを押します

⇒都市コードが点滅します。



D または **B** ボタンを押します

⇒ **D** または **B** ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。(「**都市コード一覧**」参照)

※ **D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。

例)
東京(日本)の時刻に合わせてときは、都市コードを「TYO」に設定します

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**A** ボタンを約1秒間押します

⇒「秒」が点滅します。



(2) サマータイム (DST) の ON / OFF を選ぶ

C ボタンを押します

⇒ON または OFF が点滅します。

D ボタンを押します

⇒ON または OFF が切り替わります。



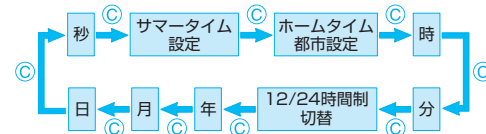
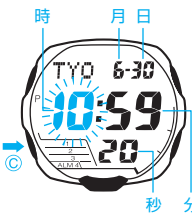
※ OFF = サマータイム OFF (通常時間)
ON = サマータイム ON (夏時間)

※ サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。(サマータイムについては「**サマータイム(DST)について**」参照)

(4) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **C** ボタンを押します

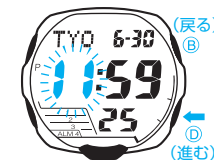
⇒ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **D** または **B** ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.~b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※ 12/24時間制切替は、**C** ボタンを押すごとに12時間制表示(12H)と24時間制表示(24H)が切り替わります。

※ 「時」のセットのとき、午前(A) / 午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※ 「年」は2000~2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。